

館山市広報

発行所 館山市役所
館山市北條1087番地
電話 館山67.08.183番

今月の税金

市民税 第5期
納期限 2月末日

財政事情の公表

昭和二十八年前半期分

市の財政事情は地方自治法により毎年二回市民に公表することを規定してあります。年々新しい諸施策に要する経費、その他財政需用額が増加する一方であり、その半面財源が支出に伴わず大変苦しいのが実情であります。財政事情を公表するに当り、市政の運営を財政面から知つていただき、皆さんのための市政であり市の財政でありますので、良く認識御理解を頂いて、よりよき発展のため一層御協力下さる様お願い致します。

第一 財政の動向

近年地方公共団体の財政が非常に窮乏し、市民の福祉に直接影響する事業の執行にも支障を来す状況に陥つて居ります。當市もこの例にもれず、豫算の経理に困難を來して居

と、昭和二十八年度第二回目の「館山市財政事情」を公表し、當市の財政事情を明らかにすることに致しました。今回の公表は昭和二十八年四月一日から九月三十日までのものであります。

歳入歳出豫算議決 (昭和二十八年九月末日現在)

本年度當初の一般會計歳入歳出豫算總額は一三八、八一、九六九圓であつて、三月、

第二回分は、教育費の五九四、一四〇圓、産業経済費の六六一、四〇〇圓、公債費の一、九〇〇圓、公債費の一、

〇五、八五〇圓がその主たるものであります。教育費は館山幼稚園舎移築工事費、北條幼稚園舎工事費、プール敷地の購入費、その他産業経済費は、商工會議所補助金、その他、財産費は、船形漁港修築費、船形漁港修築費、その他、これら財源は市税、國庫支出金、その他に求めたのであります。

別表第1號 昭和28年度館山市歳入歳出豫算議決(昭和28年9月末日現在)

議決年月日	當初又は追加更正の別	歳入	歳出
昭和28年3月25日	當初	133,811,969	133,811,969
" "	追加	2,237,150	2,237,150
" 6月19日	追加更正	1,830,257	1,830,257
" 6月20日	"	135,000	135,000
" 8月22日	"	2,820,378	2,820,378
" 9月28日	"	5,859,427	5,859,427
合計		151,694,181	151,694,181

三四圓、社會及び労働施設費一、七七一、〇六〇圓、路支出金九六四、〇八圓等が出金九六四、〇八圓等。土木費の内八一〇、〇〇〇圓は三芳村から合併條件の一つである通學道路工事の委託を受けたもので、これを當市の失業対策事業として實施するものであります。この財源は三芳村の負擔金と、國庫補助金で履行することになつて居ります。教育費は、船形小學校々々地理立工事費、那古小學校附屬圖書館新設工事費、同校々々地盤地工事費等、會及び労働施設費は保會所入所兒童委託料等で、諸支出金は、町村合併促進費等で、この財源には、市税、財産収入負擔金、國庫支出金、地元寄附金、競輪収益金等をもつて充當することに致しました。

別表第2號 昭和28年度館山市歳入歳出現計表 (昭和28年9月末日現在)

科目	歳入				豫算減額に対する収入増減	
	豫算現額	調定済額	収入済額	収入未済額	増	減
1. 市地方財政局	71,810,937	90,367,981	13,250,914	72,117,067	-	53,560,023
2. 地平衡交付金	23,930,000	18,165,000	18,165,000	-	-	5,765,000
3. 公營企業及び公財分擔金	1,262,263	66,440	36,925	29,515	-	1,225,333
4. 分擔金及び手数料	453,965	-	-	-	-	453,965
5. 使手	7,518,350	3,882,311	3,482,661	399,650	-	4,035,689
6. 國庫支出金	23,023,383	7,642,228	7,642,228	-	-	15,381,155
7. 縣支出金	1,442,115	67,599	67,599	-	-	1,374,516
8. 寄附金	3,072,000	1,447,742	395,394	1,052,358	-	2,676,616
9. 繰入金	4,750,000	2,000,000	2,000,000	-	-	2,750,000
10. 繰越金	87,607	89,816	89,816	-	2,209	-
11. 雑収入	243,561	210,969	179,245	31,724	-	64,315
12. 市債	14,100,000	-	-	-	-	14,100,000
歳入合計	151,694,181	123,940,086	50,309,772	73,630,314	2,209	101,336,618

第二 財政方針

現在歳入の根幹をなす市税の實際納額額は、四、七〇〇万圓の巨額に達して居り、市税豫算額の約六五%に當るのであります。市に於きましては、この財政危機を乗切らるるために、徹底的に檢討を加え、節約できる限り節約すると同時に、歳入の増収を圖る考であります。しかし之は口で

云うように簡單なものではありませぬ。今後は滞納整理を一層嚴重に実施し、差押と強行し正しく納税する市民各位の要望に應え、共に中央の施策と相俟つて本市財政の自立性を目指し、歳入の確保を期して市民

第三 収入支出の概況

次に昭和二十八年年度の歳入歳出現計表につ

の福祉増進事業に支出する方針でありますから、市民各位におかれましては、本市財政のあるがましの實態を深く檢討され深い御理解をもつて、市政の運営に一層の御協力を切望する次第であります。

いて申上げます。別表第2號表を御覽下さい。九月末日の歳入總額は五〇、三〇九、七七二圓、歳出總額は五五、六二二、四四六圓の赤字を生じて居ります。この赤字分は、どうしているかと云いますと、資金運用部から七〇〇万圓の一時借入金をしてようやく運轉しているのではありません。では何故こうした赤字が出たか、簡単に云えば市税が豫定の通り納税期内に納入されないう結果であります。市の税の豫算現額七一、八一〇、九三七圓、調定額九〇、三六七、九八一圓に對して、収入額は僅に一八、二五〇、九一四圓に對して、二、一一七、〇六七圓に對する収入減額は七五、六〇〇、〇二三圓と云う結果が現れて居ります。

科目	歳出		
	豫算現額円	支出済額円	豫算残額円
1. 職會費	4,438,177	2,001,773	2,436,404
2. 市役所費	25,041,655	12,372,666	12,668,989
3. 警察消防費	24,584,438	10,604,777	13,979,661
4. 土木費	19,489,162	3,067,563	16,421,599
5. 都市計画費	9,203,000	129,500	9,073,500
6. 教育費	26,206,607	8,870,389	17,336,218
7. 社會施設費	20,978,554	10,322,336	10,656,218
8. 保健衛生費	4,118,756	1,358,618	2,710,138
9. 産業經濟費	9,900,846	5,065,244	4,835,602
10. 財産費	1,466,665	187,043	1,279,622
11. 統計調査費	27,8694	18,640	260,054
12. 選挙費	795,367	522,261	273,106
13. 公債費	1,571,876	718,177	853,699
14. 諸支出金	2,957,361	693,277	2,264,084
15. 豫備費	663,023	-	663,023
歳出合計	151,694,181	55,932,264	95,761,917

しかしこの市税の調定額の内、市民税と個人固定資産税を一ヶ年分年度の頭初に全部賦課致しましたので、實際の市税納額は約四、七〇〇万圓であり、この内現年度の普通税の滞納額は一、八七五万圓、過年度分は二、八四八万圓の多きに達して居ります。當局がいかに市民のために有益な事業を実施しようとしても仲々できない云うことになり、地方財政平衡交付金は豫算以上に収入される見通しであり、之は市税に次ぐ重要な財源であります。國庫支出金も、市債も事業の裏付けとなる重要な財源であります。豫算に計上した額だけ易々と収入できるものでなく、この獲得には非常な努力を要するものであります。市當局に於きましては、なるべく豫算に近い額を得

たいと關係當局と鋭意接衝を行つて居ります。次に歳出の執行状況について申し上げます。警費、市役所費、警察消防費等通常の經費を主とするものは豫算の約半ばを支出して居りますが、土木費、都市計画費、教育費等比較的投費的經費、公共施設費等を主とするものは、國庫補助や借債や寄附金等の財源の實施は年度の後半に属するものが多いので、今後支出の増大が豫想されます。

別表第3號 競輪収入は八市共催として第二年度を迎えましたが、その成績は順調で現在二、一八四、三一九圓の利益を擧げて居り、尙今後百數十萬圓の利益金の収入が豫想されます。この利益金は一般會計へ繰出し、數百經濟等市民福祉の經費に活用し

昭和28年度館山市特別會計歳入歳出現計表 (昭和28年9月末日現在)

科目	歳入			豫算現額に對する収入増減	
	豫算現額円	調定済額円	収入済額円	増円	減円
1. 事業収入	7,170,002	2,404,618	2,404,618	-	4,765,384
2. 繰入金	800,000	200,000	200,000	-	600,000
3. 繰越金	100,000	25,732	25,732	-	74,268
4. 雜収入	1	1,609	1,609	1,608	-
5. 市債	1,500,000	-	-	-	1,500,000
歳入合計	9,570,003	2,631,959	2,631,959	1,608	6,939,652

科目	歳出		
	豫算現額円	支出済額円	豫算残額円
1. 經營費	518,075	178,260	339,815
2. 事業費	7,650,002	2,380,000	5,300,002
3. 公債費	362,926	146,713	216,213
4. 諸支出金	700,000	500,000	200,000
5. 豫備費	339,000	-	339,000
歳出合計	9,570,003	3,174,973	6,395,030

昭和28年度館山市特別會計競輪歳入歳出現計表 (昭和28年9月末現在)

科目	歳入			豫算現額に對する収入増減	
	豫算現額円	調定済額円	収入済額円	増円	減円
1. 事業収入	3,800,000	2,184,319	2,184,319	-	1,315,681
2. 繰越金	1,500,000	1,636,859	1,636,859	136,859	-
歳入合計	5,000,000	3,821,178	3,821,178	136,859	1,315,981

市税の徴収成績は、市民税、固定資産税の収入歩合が二二・一七と云う率を示して居りますが、これは収入支出の概況のところでも述べた理由によるものであります。普通税の二二・二に比べて、舊法による収入歩合が僅かに二二・一に過ぎないことは遺憾であります。今迄納税組合が設置された場合現年度の税に重点をおいて徴収し過年度の税は等閑視される傾向がございましたので、今後は組合と連絡を密にして之等の税に對しても積極的徴収を

科目	歳出		
	豫算現額円	支出済額円	豫算残額円
1. 財産費	760,000	-	760,000
2. 諸支出金	4,210,000	2,053,716	2,156,284
3. 豫備費	30,000	-	30,000
歳出合計	5,000,000	2,053,716	2,946,284

別表第五号表は市税の徴収成績であります。出總額は一三、三二九、〇六四圓であり、過去二年度に亘つて生じた赤字を克服するために、できる限り歳入を節約し、或は歳入を豫定してその不足を補つた等の非常策をとつたので、非常に苦しい状況に於いては、九、八一〇、九三七圓の赤字を生じ、翌年度の剰余金を生じ、翌年度の繰越すことができたのは、市當局の堅い決意に基く結果であります。

次に事業等の概要について申し上げます。警察消防費の中では消防自動車ポンプ一台一七万五千圓を計二〇、六九九圓五〇〇、六九九圓五〇〇(八、四四六世帯)となり、市民一人当りの平均は二、三五五圓〇五錢(三八、三七二人)、一世帯の平均は二、三五五圓〇五錢(三八、三七二人)、一世帯

第七号、第八号表は特別會計決算に關するもので、賃屋費に於て二五、七三二圓、競輪費に於て一、六三六、八五九圓黒字を生じて特別會計の機能を發揮して居ります。

昭和二十八年九月末の市税調定總額は九〇、三六七、九八一圓で、市民一人当りの平均は二、三五五圓〇五錢(三八、三七二人)、一世帯の平均は二、三五五圓〇五錢(三八、三七二人)、一世帯

第五財産公債及び一時借入金の現在

昭和二十八年九月末日の市有財産・市債及び一時借入金は次表の通りであります。

一、市有財産
宅地 三九二坪
その他 三〇三坪
建物 九・六五坪
預金 六〇〇〇圓
貸付金 二〇〇〇〇圓
公債及 五〇〇〇圓
株券

二、一時借入金
昭和二十八年年度豫算内の支出に充てるためなした一時借入金、現在高七〇〇万圓は資金運動部から借入しているものであります。が、内二〇〇万圓は十一月に、他は年度内に必ず償還しなければならぬのであります。以上九月末迄の市財政の概要について御説明致しました。その實態については数字が最も忠實に物語るように當市の財政は極めて憂慮すべき事態に直面して居ります。是迄毎回申上げました通りこの危機を打開するためには納税者たる市民各位の御協力にまつより外に途がないのでありますから深く思をこらしてあります。

別表第6號 昭和27年度館山市歳入歳出決算見込

Table with columns: 科目, 歳入, 決算見込額, 増減. Rows include 1.市税, 2.地方交付金, 3.公営企業収入, etc.

別表第5號 昭和28年度館山市税徴収成績表 (昭和28年9月末日現在)

Table with columns: 税目, 調定済額, 収入済額, 収入未済額, 収入歩合. Rows include 1.市市民税, 2.固定資産税, 3.自転車税, etc.

Table with columns: 科目, 歳出, 決算見込額, 豫算残額. Rows include 1.竊會費, 2.市役所費, 3.警察消防費, etc.

別表第7號 昭和27年度館山市特別会計公益質屋歳入歳出決算見込

Table with columns: 科目, 歳入, 決算見込額, 増減. Rows include 1.事業収入, 2.繰入金, 3.繰越金, etc.

別表第8號 昭和27年度館山市特別会計競輪費歳入歳出決算見込

Table with columns: 科目, 歳入, 決算見込額, 増減. Rows include 1.事業収入, 歳入合計.

Table with columns: 科目, 歳出, 決算見込額, 豫算残額. Rows include 1.經營費, 2.事業費, 3.公債費, etc.

Table with columns: 科目, 歳出, 決算見込額, 豫算残額. Rows include 1.財産費, 2.諸支出金, 歳出合計.

マツチ一本火事の元

焼いて泣くより 笑って火の用心

毎日、新聞のどこかに火事の記事がのつていないことはありません。それ程火事が、多いのです。それは私達が大部分木と紙でできた燃え易い建物に住んでいるからで、消防局が常に火の用心を叫ぶのはこのためです。

消防信 號

(注意各家庭に於てはこの表を切り抜いて見易いところへ張つて下さい)

火事は病氣と同じで病氣になつてから医者にかゝりますと、痛い思いもし、その上金がかかるのみか一命を落すこともありませう。病氣は豫防をして健康を保つことが大切で、消防の第一は火事を豫防することです。即ち火の用心です。火事になつてしまへば初期に消したとめたとし、ても多少の被害はあるわけですからこれを未然に防ごうとこそ新しい消防のあり方です。第二には不幸にして火災が発生した場合に早期に之を消し止めてしまふことです。「火事は最初の五分間」という言葉があります。皆さん御承知の消防署は晝夜を分たず望撃で監視して早期発見につとめております。火災が室内に発生した場合に火が外部に洩れて始めて望撃発見できる譯で、消防車が直ちに出勤しても、現場に行つた際は相當の火災になつておられるというおそれもあります。それもあります。消防署の自動車は望撃見や出火の知らせがあつてから三十秒、遅くも一分以内には出勤できるのですから一分一秒を争う初期防火には大變有利となります。

出火を発見した場合は誰でも直ちに消防署(館山六二番)館山分遣所(館山四九二番)船形分遣所(船形二五五番)に連絡して下さい。連絡して下さる方が被害を最少限度に食い止める近道です。消防署は火災豫防の徹底期をするために、風が強く空気が乾燥し火災を起し易い状態(風速七米以上湿度四〇%以下)になった時は火災警報を発令しサイレンを吹鳴し、署に全員が待機する一方消防車にマイクを据えて街頭宣傳をし火災豫防を強く皆様と呼びかけております。火の用心は常にしなければなりません。このように日には、煙突の掃除、火の用心、火災警報の注意を切らねばなりません。

取灰・煙草・油類その他火災の原因になりやすい物の取扱後始末には特に注意をして下さい。幸い本年は暮から正月にかけては一件の火事もなく平穩無事でありました。が二十八年中の館山市の火災は船形小学校・丸高水産の二次火災を含め十件被害総額約三千万圓に方つております。

消防信號は左の通りとなつております。

種別	打鐘信號	サイレン信號	その他信號
近火信號	約三秒	約三秒	
消防屯所より八〇〇米以内のとき	(連点)	約二秒	
出場信號			
署・所・團、出場區域内	(三點)	約五秒	
署・所・團、特命應援	(二點)	約六秒	
報知信號			
出場區域外の火災を認知したとき	(一・二點)		
鎮火信號			
火災警報			
發令信號	一点と四點の斑打	約三十秒	赤白旗の降下
解除信號	(一点と二點の斑打)	約十秒 約一分	旗の降下
演習召集信號	(一点と三點の斑打)	約十五秒 約六秒	

火災警報發令信號及火災警報解除はそれぞれ一種又は二種を併用することが出来る。又館山市に於てはマイクにて街頭宣傳を行う。消防信號は適宜とする。消防職員又は消防團員の非常召集を行うときは近火信號を用いることが出来る。長警一點限りのサイレンは市学校・工場その他に於て時報・始業・終業の合圖に使用してありますので念爲。

母子相談所だより

母子福祉資金貸付の今までの實績は左のとおりです。

- 第一回 生業資金 一八八 許可
- 第二回 生業資金 一六八 許可
- 第三回 生業資金 一五八 申請中

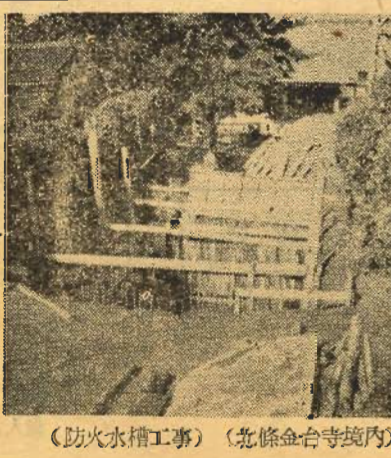
のこや生計のこと、一身上のこと等、悩みのある方は御遠慮なくお尋ね下さいませ。心からお待ち申上げて居ります。相談して本當によかつたとおつし



(公営住宅竣工全景) (北條海岸)

三月の天候豫想

概況 天候は晴曇相準し平均気温は例年より幾分低目です。本格的な春の訪れは一週間位遅れようでありませう。本年は季節前遷れの低温が現れる心配があり例年の三月とは違つた活潑に経過する見込です。



(防火水槽工事) (北條水台寺境内)



(汐入川災害復旧工事)

日照時間	降水量	平均気温
上旬 五・三時間	上旬 八・〇度	上旬 八・〇度
中旬 五・〇時間	中旬 九・〇度	中旬 九・〇度
下旬 五・八時間	下旬 九・〇度	下旬 九・〇度

富時測候所より